

# ハツ場 ダム

# やはり中止が「道理」です

# 地元の生活再建 一日も早く



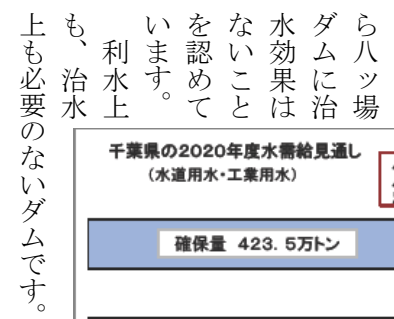
新政権は、群馬県のハツ場（やんば）ダム建設中止を明らかにしました。このダムは、57年前に計画されたもので、この間、千葉県も建設費等を負担しています。「ムダ遣い」はやめてほしい、との国民の願いに応え、ダム建設は中止し、地元住民の合意、理解のもとに生活再建を急ぐべきです。



## 利水上も 治水上も 必要ありません

ハツ場ダムがないと水不足で困るなどということはありません。下図をご覧ください。千葉県は、将来、必要となる一日あたりの水量（需要量）よりも多い水をすでに確保しています。

また、「カスリーン」台風（1947年）並みの洪水に備えると言いますが、昨年6月、国交省自



## もう7割できている...というけれど 中止の方が安上がりです

ハツ場ダム建設の総事業費は4600億円。金利や関連事業費を含めると9000億円にもなり、千葉県の負担は760億円です。

「もう7割もできている」「いまさら中止したら、かえって高くつく」などの声がありますが、本当でしょうか。

すでに総事業費4600億円のうち7割が使われていますが、実際の工事進捗率（2008年度末）をみると、国道は6%、県道2%、鉄道75%、代替地10%です。ダム

本体はこれからです。今後、ダム周辺にある22か所もの地すべり対策や吾妻川から取水している東電への減電補償も加えると、さらに二千数百億円もかかる見込みです。

一方、中止した場合の地元生活関連事業や千葉県などへの返還金は、合わせて千七百億円程度。中止した方が安上がりです。

千葉県に返還されたお金は、暮らしや福祉の貴重な財源となります。

## 「生活再建法」の 制定を提案しています

現地のみなさんは、半世紀近い反対運動の末に、国の意向でダム建設を受け入れざるをえませんでした。

地元住民のはかりしれない苦悩を、政府はしっかりと受け止めるべきです。住民の理解や合意のないまま、一方的に結論を押し付けるようなことは許されません。

後の生活再建、地域振興策を国の責任ですすめることが必要です。

日本共産党は、公共事業を中止した場合の地域再建のための法律（生活再建法）を制定するよう提案しています。



住民の声に耳を傾け、住民参加のもとに、ダム建設中止